



(株)小原建設
代表取締役
小原 志朗

働くという事

先週、盆休み前にはもう廻れないだろうと思いき、盛岡での会議の後、意を決して、沿岸地の現場巡りに出発。宮古の市内に入ったのが午後五時三十分過ぎだったので、予定の三陸国道事務所への挨拶廻りは明日ということにして、豊間根の現場に入りました。

丁度、作業が終了し、事務所内には一種の安堵感が漂っており、ワイワイ賑やかな雰囲気でした。早速、現場の状況を聞き、一ヶ所現地に案内してもらい確認したところで、大沢漁港現場の連中から連絡が入り、「社長、ホテル迄迎えに行きます。六時三十分からですからヨロシク。」ということ、その通りに行きます。山田町内の高級？料理屋に部屋を案内され、ほどなく豊間根のグループも合流して、宴会が始まりました。

最初は普段、素食のせい、食べる事、飲む事で、しゃべる事も惜しんでいたようでしたが、腹が満足したら、現場の話はもろろんの事、入社当時の事、今迄の現場体験など、普段表れない姿を見ることができました。私も自身の昔話から、震災から五年経ての今やっている事の意義、将来に残せる達成感ある使命など、様々語り合ったところで、勢い余って、二次会のカラオケ屋に繰り出すはめになりました。私も、這う這うの体で途中で中座して帰りましたが元氣な奴等です。翌日の朝七時三十分での現場朝礼では、昨夜は何事も無かったかの様に、地元業者、名古屋と滋賀県からの協力業者を含めラジオ体操から始まる、身の締まる立派な朝礼を行い、それぞれの持場に指示を与えておりました。

一流



さすが「一流を目指す集団」と思いつつ、次の行き先、南三陸国道事務所に挨拶し、先月に検査終了し、又、受注した吉浜工区に向かいました。ここはこれからのスタートです。又、JV工事の甫嶺防潮堤の水門は最終段階に入っております。あと一年以上はかかるでしょう。大型豪華客船が入る、大船渡野々田の防潮堤も受注してから一年経てようやく支持杭打設に入り、これも先二年余り要するのではないかと思われます。

少し疲れ気味になってきたところでしたが、思い残って、気仙沼境付近の高田丑沢に向かいました。陸前高田は震災工事の一番最初に乗った地区で、圃場整備、河川災害復旧、造成工事、復旧道路工事、解体工事など様々に参画し、それらを一通り引き渡し、「もうここには仕事で来る事がないんじゃないかな」と思っていたところ、縁あって、また復興工事をやることになった場所です。非常に懐かしく廻って歩きました。

行く先々で、当社の社員がまるで、この地で何年も前から生活していたかのごとく、車で飛び跳ねていましたし、又、途中の道々ですれ違ふ事もありました。社名入りの大型ダンプの列にも遭遇しました。

皆、それぞれに自分の仕事に誇りを持ち、その地その場で坦々となして行く、正にプロの集団を感じました。これが「働くという事」であり、帰路は足取りも軽く清々しい思いで帰ってきました。逆に元氣をもらった思いすらします。

自宅を離れての辛さもあるでしょうが、手ごたえのある仕事です。それが「働く」という事です。短いお盆休みですが、休んでまた頑張りましょう。

新入社員紹介

(株)小原建設
佐々木 友紀
4月1日入社



花巻農業高等学校出身です。環境科学科で土木について学びました。入社してから4ヶ月が経ち、会社の雰囲気には慣れてきました。入社1ヶ月で大船渡の現場に配属されたときは、不安でいっぱいでした。しかし、現場の方々のご指導のおかげで、何事もなく終わることができました。今は陸前高田の現場です。まだまだ分からないことだらけですが、自分を大きく成長させるチャンスだと思いながら頑張ります。花農OBの優秀な先輩が多くいらっしゃる中、久々の花農出身者ということでそのあとに続けられるよう精進しますので、これからもよろしくお祈いします。

(株)小原建設
高橋 真澄
5月16日入社



この業界は、まず金額が普段見る事もないような数字で、目がおかしくなります。下から数えていって途中で分からなくなったり、桁を間違ってしまったらしております。また、聞いた事が無い言葉もでてきますので、どんな意味なんだ?と悪戦苦闘しております。一つ一つの仕事に時間がかかり過ぎてしまい、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。しかしながらやさしい方々ばかりで、丁寧に教えて下さいます。本当にありがたい限りです。まだまだ勉強中ですので、ご指導をお願いいたします。ちなみにプライベートでは登山をしております。※イモトみたいには登れませんが(笑)

(株)丸重
照井 裕子
3月2日入社



こちらでお世話になってから半年になろうとしています。まだまだ不慣れなこともあり、先輩方から親切、丁寧に指導していただきとても感謝しております。利用者の皆さんに気持ち良く使用して頂けるように、施設の管理や清掃に励み、そして臨機応変な対応ができる様努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお祈いします。

(株)小原建設
成田 和芳
4月1日入社



4月からお世話になっております61歳の新人「成田」と申します。入社から4か月、民間モードへの切替え完了。これからは少しでも皆様のお役に立てるよう、また、社業の発展に貢献できるよう「一流の黒子を目指し」日々努力してまいりたいと思っています。

また、体育会系のノリ(30までラグビーやってきました)で仕事に取り組みたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお祈いします。なお、モットーは、「遊び心を持ち業務に取り組む」です。

(株)小原建設
藤原 正知
5月21日入社



今年の5月末に入社してから2か月が経過しました。現在は北上市立南小学校の現場で石田さんにいろいろなことを教えていただきながら、現場を進めています。一日も早く会社の方針、考え方を理解し、実践でき

るよう頑張ります。まだ、ご迷惑をかけることが多いと思いますが、よろしくお祈いします。

(株)丸重
加藤 堅哉
4月12日入社



入社させていただき3ヶ月半が過ぎました。現在、施設の管理と清掃に携わっております。特に事務管理のパソコン業務において、前の職場と全くちがっていて、苦労しましたが、少しずつ理解することができ、操作できるようになってきました。しかし、未だにわからない所があり、管理施設のリーダーであるマサ子さんをはじめ、管理人の方々に教えていただいております。また、清掃活動においても、同じことが言えます。管理人として、利用者に気持ちよく使用してもらえるように自覚と責任を持って従事したいと思っています。

(株)小原建設
高橋 晃
4月4日入社



生年月日は昭和33年7月7日(七夕生れ)の58才です。(娘2人息子1人)孫1人。

小原建設は地元の企業なので知っておりました。黒沢尻幼稚園～飯豊小学校～中学校～黒北～日大工学部建築科卒業。その後岩手に戻ってきて設計監理協会～民間の設計事務所を経て48歳の時に独立開業しました。

小原建設にお世話になった経緯は営業の高橋克典課長と高校の同級生です。県立黒沢尻北高等学校です(高校時代はラグビー部でポジションはウイングでした)。市内の飲み会で顔を合わせた時になにげなく「何か仕事あったら紹介して下さい」とお祈いしたら小原専務、建築課長にあつて下さい。となりました。トントンと面談を重ねる内には話がまとまって、お世話になることになり現在に至ります。しかし、一級建築士の名前は「名ばかりの、周囲に迷惑ばかりの数ヶ月です。専務、高橋義勝さんに指導してもらっておりますが、「気合いを入れて」がんばりますので、よろしくお祈いいたします。

(株)丸重
戎谷 栄悦
6月14日入社



6月14日から指定管理施設の方にお世話になっております。管理業務は初めてですが、先輩の方々より、今、日々ご指導いただいております。ご利用者に喜んでいただけるよう一日でも早く業務に慣れ、遂行出来るように努力して参りたいと思っております。ご指導の程よろしくお祈いいたします。



編集後記

(株)小原建設
千葉 哲仁



今期も無事に社内報を発行できました。ご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。記事を見るとそれぞれに個性があります。なるべく修正せずに原文そのものを載せています。個性には短所長所が存在しますが、よく「短所は直せ」と思われがちです。しかしそのことで、せつかくの個性がなくなる場合もあります。短所を直すより、長所(個性)を伸ばすよう、本人そして上司も意識をして、欠点はしっかりと補いつつ、成長を促したいものと常日頃思っているところです。

さて4日間のお盆休み。先祖を供養して、まだ仕事に興味に遊びにと、何事にも精一杯取り組みましょう。

サッポロビール園 & 楽天野球観戦 宮城日帰り旅行

サッポロビール園へ…早速バスの中でビールを1・2缶…。ビール園では、焼き肉食べ・ビール飲み放題、時間を余すと思いきや食べる、飲む、何杯飲んだか? ごはん山盛りの人もいたなあ。驚き!

ゴボスタ宮城…席に着き横を見たら、いつのまにか楽天のユニホームを着て応援グッズを手に。感動! 来たっ、ビールを背負って階段を上がって来る子、軽くしてあげないと思いつつ1・2杯…。旨い!

プロ選手の体の大きさと迫力、風船飛ばしと応援の熱さに。感動!

帰りのバスでは、楽天勝利を祝し1・2缶、トイレとの格闘も終わり無事会社に到着。迎えに来てくれた、かあちゃんにお土産話をしながら家へ。

最後になりましたがこのような野球観戦を企画して頂きありがとうございました。



(株)小原建設
八重樫 幸也



(株)小原建設
後藤 政之

6月11日に楽天観戦日帰り旅行に行ってきました。当日は朝から天気も良く最高の旅行日和でした。予定通りの時間に出発し、東北自動車道にと行程は進んで行きました。話には聞いていましたが、さっそく宴会に突入! 朝からアルコールは体が受け付けないと思っていましたが(言い聞かせていた?) 次々とビールを支給してもらい、昼食場所に到着するころにはいい状態に仕上がっていました。

サッポロビール園では、おいしいラム肉からいろんな種類の肉を堪能しながら、またまたおいしいビールをしこたまいただきました。おいしかったな〜。この旅行で何キロ肥えたのかな。

いよいよ楽天の試合観戦。プロ野球の観戦は5年ぶりでしたが、やはりプロのプレーは改めて面白いと思いました。また見に行きたいな〜。

楽天観戦から大学生の息子も合流させていただき、大変感謝しております。

最後に“楽しかったな〜”



📌 試合メモ

6/11 楽天 vs 広島(晴天)
Kobo ｽﾀ宮城

○楽天 2-1 広島●

7回まで打線は沈黙…
しかし8回裏、代打攻勢で2点を取り逆転。
9回は松井祐樹が抑え、今年セリーグ首位を突っ走っている広島を相手に見事勝利!
(オコエ君は3打数3安打猛打賞)



日本の文化『茶道Ⅲ』



前回『時時勤拵拭』について話しましたが建設業は特に現場作業が丸見えで、不特定多数の人たちに見られている職業ですから、『きれい』が一番ですよね。50年前になります、現会長とこれからの建設業についての夢は「建設業の『3K』を無くそう」でした。現在は、今以上にきれいに出来ないかな? です。当社が出来ること。それは現場完成後の足跡にお花の植栽はいかがでしょうか。前置きが長くなりましたが今回は、茶室の床の間によく飾られる『日々是好日』のお軸ですが『一日一日が、かけがいのない一日です。この一日一日を大切に生きましょう、さあ、ごゆっくり、お茶を一服、いかがですか。』というわけです。

7月24日(日)北上茶道教会の「慈善茶会」がありました。二子小学校の学童『どんぐりクラブの6人』が半東さんをして、お客さんにお菓子とお茶を運んで、皆に喜ばれました。皆さんもやってみませんか。今、茶道、書道、お花、踊りも、若い子が少ないのです。こんな素晴らしい日本の文化がずたれてしまいます。

私如きで何ともならないのですが結婚50年・勤続50年を記念して『書道教室』プラス『茶道教室』をはじめます。

日本庭園もイングリッシュ・ガーデンも勉強した、ケン・ガーデン・プランニングさんに依頼して、『茶庭』を作りました。

それが気に入って、皆さんに見ていただきたいのもありますが、あわただし毎日の中に、一時、こんな時間があってもよろしいと思います。

『茶道』には、立居振舞、お花、書、焼き物、塗り物、着物・・・日本文化がいっぱい詰まっています。是非、知って欲しいと思っています。



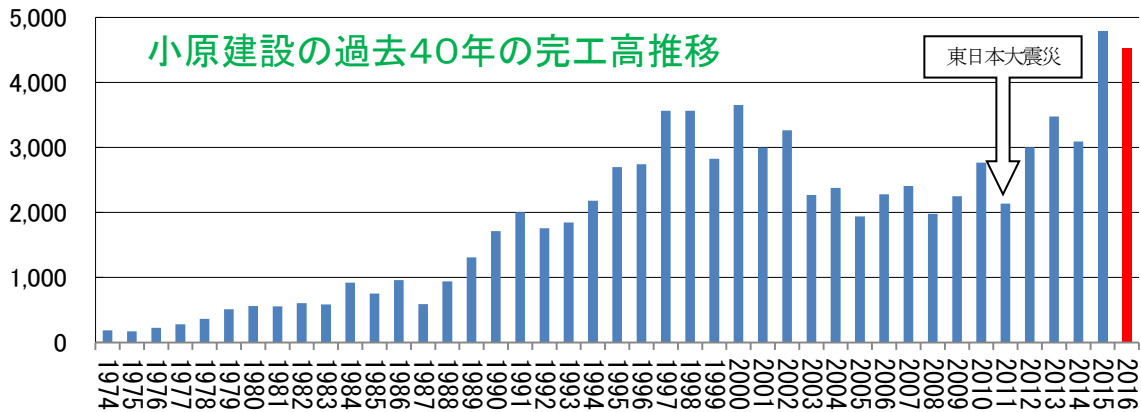
平成28年8月12日 表千家教授 小原宗和



(株)小原建設
代表取締役専務
小原 学

関係の方々に心より感謝、感謝、感謝。

この社内報をお読みの社員の皆さん、家族の皆様、OBの皆様、お客様、協力業者の皆様、その他、関係の方々。日頃のご支援に心より感謝申し上げます。お陰さまで小原建設は今日も元気です(^^)。さて、小原建設の今年6月決算は完工高45億、対前年比8%減です。そろそろ復興工事のピークが見えています。震災以降、受注した沿岸工事は計28件、総額70億を超えました。泊り込みが長い職員には身体と心の疲れが溜まっているように感じます。また、夫の留守を守るご家族にも負担が大きいと思います。すでに内陸は低価格受注の嵐です。まだまだ沿岸工事を受注しなくてはなりません、泊り込み職員は厳選し、より一層報いていくつもりです。反面、建築部門は去年に続き盛況で、6・7月は2週間に一度は地鎮祭を行いました。当社総務部は地鎮祭業ができるくらい(笑)。建築係の1人当り完工高は2億超！他社では絶対ありえない数字で、入社3年目の新人もすでに代理人として活躍しています。



今年上半期のニュースとしては、4月4日から、毎週月曜日、18時14分から19時までの8チャンネルのめんこいテレビ「みんなのニュース」の中で小原建設のCM放映を始めたことです。15秒のCMなので、見た人はあつという間な印象だったと思います。内容をお話すると、冒頭に、大船渡の吉浜インターチェンジの完成現場を現場代理人が見ている背中のシーンで始まり、ナレーションの「完成した現場に一人立つ時」というセリフに続いて、現場代理人が測量をしたり現場事務所で一人残業をしたりしているシーンとなり「あなたのひたむきな努力は一瞬にしてむくわれる」というナレーションが入ります。そして最後に、もう一度、完成現場のシーンとそれを見つめる人物の横顔が写り「それは、未来へ残すものづくり 小原建設」というナレーションで締めくくります。今回、CMを流そうと思ったきっかけは、小原建設創業60周年と震災から5年の節目に『私達の思いを伝えたい』と思ったからです。震災から今まで皆さんは泊り込みで苦労しながら現場を仕上げてきました。仕事とはいえ、そこには『自分たちがやらずに誰がやる』という使命感があったのも事実です。だから、「小原建設！小原建設！」と連呼するようなCMではなく、建設業に携わる全ての人の思いを代弁するCMにしたつもりです。同時に、スケベ根性で、新卒採用が厳しいので、小原建設の名前を新卒の親御さんにも知ってもらえるように、との二次的な狙いもあります。さらに、皆さんのお子さんが見たり、例えば、親御さんがテレビで水戸黄門を見た後にCM見て「おらほの息子の会社だ！」と誇りに思ったりしてもらえれば良いなと思っています。

CMのストーリーは、当社のある社員が飲み会の時に語った話を元としています。その人いわく「現場をやっている間、何度も、完成できそうもなかったりして、もう逃げたいと思うことがある。だけど、現場が完成し、夕方に一人で高い所に登って完成した現場を見ながらタバコを吸っていると、それで苦労はチャラになる」という話を、これこそ、小原建設のみんなが仕事をしている生きがいだ！と思って、それを伝えたいと思い、このストーリーにしました。コマーシャルには残業のシーンもあり、新卒採用としてはブラック企業のイメージがありそうですが、みんな、そういうのを超越した責任感を持って働いてくれていると思います。これからも、そういう生きがいのある仕事を一緒にしていきましょう！

※当社のコマーシャルは youtube で見られます。[小原建設]で検索してみてください。

